

福島第二原子力発電所 復旧計画の進捗状況について
(月報：平成 24 年 7 月)

平成 24 年 8 月 3 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

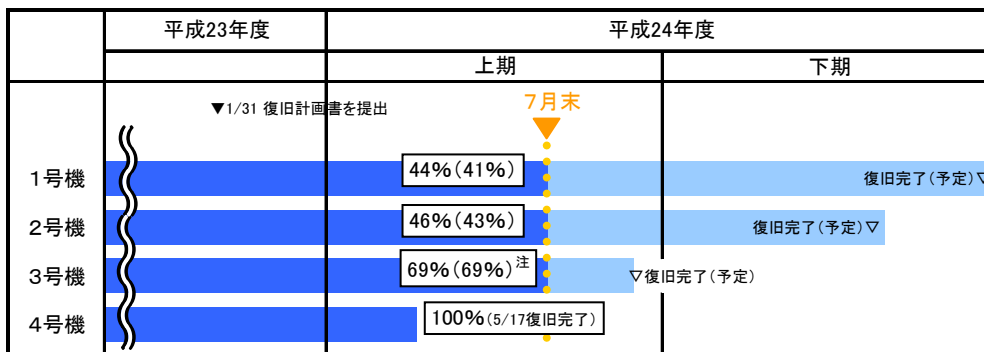
福島第二原子力発電所では、現在、原子力事業者防災業務計画に基づき策定した復旧計画（平成 24 年 1 月 31 日提出、5 月 31 日改訂）に則り、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進めています。

平成 24 年 7 月末現在の復旧作業等の状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 復旧計画の進捗状況

1～3号機における復旧作業は順調に進んでいます。

4号機は、平成 24 年 5 月 17 日までに、冷温停止の維持に必要な設備等について本設設備への復旧および社内自主検査が完了し、復旧計画に係るこれまでの実施状況についてとりまとめ、5 月 31 日、国に報告しました。(平成 24 年 5 月 31 日お知らせ済み)



- 表中の％は、復旧計画に基づく復旧作業（本設化完了まで）の平成 24 年 7 月末時点の進捗割合。
（ ）内の％は前月末時点の同割合。詳細は資料 1 を参照。
- 本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしている（号機毎）。
- （注）3号機は資料 1 の各ステップに変動がなかったため前月同様の進捗割合となっているものの、各種作業は順調に進捗している。

2. 復旧計画に基づく主な作業状況（平成 24 年 7 月）

○1号機海水熱交換器建屋内 電源盤 (P/C 1C-2) の据付完了

津波の影響をうけた 1 号機海水熱交換器建屋内の電源盤 (P/C 1C-2) については、新たに製作しておりましたが、7 月 10 日、現場据付が完了しました。【資料 1・資料 2 参照】

今後、本設への切替えに向けて耐電圧試験等の機能確認を行うとともに、関連する各系統へ電源供給するためのケーブル本設復旧作業等を進めてまいります。

○1号機海水熱交換器建屋内 残留熱除去機器冷却系（C系）の機能確認完了

津波の影響をうけた1号機海水熱交換器建屋内の残留熱除去機器冷却系（C系）電動機については、修理を行った後、5月22日までに同建屋1階に戻しておりますが、7月24日までに仮設の電源およびケーブルにて試運転を行い、機能に問題がないことを確認しました。【資料1・資料2参照】

今後、本設への切替えに向けてケーブル本設復旧作業等を進めてまいります。

○2号機海水熱交換器建屋内 電源盤（P/C 2D-2）の撤去完了

津波の影響をうけた2号機海水熱交換器建屋内の電源盤（P/C 2D-2）の撤去が7月6日に完了しました。【資料1参照】

今後、新たに電源盤を製作し、本設への切替えに向けて復旧作業等を進めてまいります。

3. その他

原子炉内に装荷されている燃料については、設備に対する維持管理の簡素化の観点から、原子炉開放および燃料移動に必要な設備*¹の健全性評価を行い、準備が整った時点で使用済燃料貯蔵プールへ移動することとしています。（平成24年1月31日お知らせ済み）

4号機については、平成24年5月17日までに冷温停止の維持に必要な設備等の本設化が完了しましたが、原子炉開放および燃料移動に必要な設備については、6月26日までに点検を終了、7月2日までに評価を終え、健全であることを確認しました。（平成24年7月3日お知らせ済み）

現在、原子炉開放（9月10日目途）に向けて準備を進めています。

当社は、緊急事態解除宣言時に原子力安全委員会から示された4項目の留意事項*²を踏まえ、引き続き、復旧計画に基づく原子力災害事後対策を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

なお、留意事項のうち4.については、平成24年3月末までに対象系統の抽出を行い、現在、各対象系統への影響についての評価を実施中です。

以 上

※添付資料

- ・資料1 福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況
(平成24年7月末現在)
- ・資料2 <写真> 復旧計画に基づく主な作業状況(平成24年7月)
 - ・1号機海水熱交換器建屋内 電源盤(P/C 1C-2)の据付完了
 - ・1号機海水熱交換器建屋内残留熱除去機器冷却系(C系)の機能確認完了
- ・資料3 <写真> その他トピックス(平成24年7月)
 - ・モニタリングポストにおける津波の影響と現況

* 1 原子炉開放および燃料移動に必要な設備

原子炉建屋天井クレーン、燃料取扱装置、使用済燃料貯蔵ラック、使用済燃料貯蔵プール

* 2 原子力安全委員会から示された4項目の留意事項

平成23年12月26日、原子力安全委員会から内閣総理大臣に対して、当社福島第二原子力発電所に係る原子力緊急事態解除宣言を行っても差し支え無い旨の意見が示されるとともに、同宣言を行うにあたっての留意事項が示された。また、平成24年1月11日、経済産業省原子力安全・保安院から、福島第二原子力発電所の復旧計画の策定およびその実施にあたっては、当該留意事項について対応するよう指示があった。

1. 福島第二原子力発電所の一部の設備については、仮設設備となっており、これらの設備について適切に維持管理を行うこと。また、計画的に仮設設備の依存度を下げること。
2. 残留熱除去系の一部等の安全設備が復旧していないことから、それらが復旧するまでの間、状況に応じて適切な管理を行うこと。また、自然災害等に備えて、更なる安全確保に万全を期すこと。
3. 作業員の安全を含め安全管理に徹底を期すこと。
4. 冷温停止にいたるまでに、通常時と異なる圧力・温度等の履歴があったことを踏まえ、施設に対するこれらの影響を検討すること。

進捗に係わる各ステップの日付の定義は以下のとおり。

- 撤去 → 対象設備を取り外し、搬出が完了した日
- 発電所搬入 → 対象設備の工場修理（新規製作）後、構内の設置建屋への搬入が完了した日
- 現場据付 → 対象設備をすべて架台に設置完了した日
- 機能確認 → 対象設備単体が復旧し、系統として機能することを確認した日
(例) 電源盤であれば受電した日、設備であれば系統復旧後（電源除く）の試験運転を実施し問題ないことを確認した日 等
- 本設切替 → 仮設から本設に切り替えた日（主に電源）
- 本設化完了予定 → 本設化完了の予定時期（完了したものは、完了日）

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

1号機

凡例： ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
6.9kV 電源系	C系	電源盤 (M/C 1C)新規製作	H23.10.31	H24.3.15	H24.3.28			H24. 上期	
	H系	電源盤 (M/C 1HPCS)新規製作						H24. 下期	
480V 電源系	C-1系	電源盤 (P/C 1C-1)新規製作	H23.12.7	H24.4.13	H24.4.19			H24. 下期 ^{※1}	
	C-2系	電源盤 (P/C 1C-2)新規製作	H23.11.11	H24.7.3	H24.7.10			H24. 下期 ^{※1}	
	D-2系	電源盤 (P/C 1D-2)新規製作	H23.12.14	H24.6.12	H24.6.18			H24. 下期 ^{※1}	
非常用ディーゼル発電設備	制御盤関係	新規製作						H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.8.29					H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
	制御盤関係	新規製作	H23.11.15					H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.10.19					H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
直流電源	充電器	新規製作	H23.9.16					H24. 下期	
	蓄電池	新規製作	H23.6.3					H24. 下期	
地震計	新規製作・取替		H24.6.1	H24.6.13			H24. 下期		
低圧炉心スプレイ系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 下期 ^{※1}		

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

1号機

凡例： ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
残留熱除去系	A系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧				H23.11.17		H24. 下期 ^{※1}	
	C系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 下期 ^{※1}	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.9		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.21	H23.9.26		H24. 下期 ^{※1}	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H24.5.22	H24.5.22	H24.7.24		H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.20	H24.3.15		H24. 下期 ^{※1}	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H23.11.2	H23.11.11		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.4.5	H24.4.12		H24. 下期 ^{※1}	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H24.5.15			H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.1.6	H24.1.12		H24. 下期 ^{※1}	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.4		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.11.22	H23.11.25	H23.11.26		H24. 下期 ^{※1}	
原子炉冷却材浄化系	A系	電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧及びパーシライ ン本設化						H24. 下期	
	B系	パーシライ ン本設化						H24. 下期 ^{※1}	
高圧炉心スプレイ系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
原子炉補機冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H24.6.12	H24.6.13	H24.6.19		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.2	H23.7.4	H23.7.14		H24. 下期 ^{※1}	
復水補給水系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
非常用ガス処理系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーシライン : 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **44%** です。(前月41%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)÷(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

※1 復旧工程の見直しに伴い、本設化完了予定を「H24.上期」から「H24.下期」に変更。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

2号機

凡例: ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備	作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系 電源盤(P/C 2C-2)新規製作	H24.6.13					H24.下期	
	D-2系 電源盤(P/C 2D-2)新規製作	H24.7.6					H24.下期	
残留熱除去機器冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧				H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
	C系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.24		H24.下期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.28	H23.7.28	H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H24.3.1				H24.下期	
	C系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2				H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.12	H23.9.12	H23.10.12		H24.下期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.26	H23.7.26	H23.8.3		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
原子炉補機冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H24.6.5	H24.6.5	H24.6.14		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.6.28	H23.6.28	H23.7.12		H24.下期	
原子炉冷却材浄化系	A系 パージライン本設化						H24.下期 ^{※1}	
	B系 パージライン本設化						H24.下期 ^{※1}	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系	電動機新規製作	H23.9.2					H24.上期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パージライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **46%** です。(前月43%)
 注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100
 ※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

※1 復旧工程の見直しに伴い、本設化完了予定を「H24.上期」から「H24.下期」に変更。
 ※2 進捗に係わる各ステップの定義に基づき、「未着手」から「実施対象外」に訂正。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

3号機

凡例: ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 3C-2)新規製作	H23.9.15	H24.1.26	H24.1.27			H24.上期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.26		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.29	H23.8.30	H23.9.9		H24.上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.24	H23.8.24	H23.8.30		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.7	H23.9.14		H24.上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.23		H24.上期	
原子炉冷却材浄化系	A系	パーシライン本設化						H24.上期	
	B系	パーシライン本設化						H24.上期	

- *M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *パーシライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **69%** です。(前月69%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

4号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 4C-2)新規製作	H23.9.7	H23.12.2	H23.12.9	H24.1.30		H24.1.30	H24.5.15
	D-2系	電源盤(P/C 4D-2)新規製作	H23.9.30	H24.2.28	H24.3.8	H24.3.23		H24.3.23	H24.5.16
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.25	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.5	H23.7.5	H23.7.7	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.19	H24.4.19	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.5	H23.9.29	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H23.7.27	H23.8.2	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.7	H23.9.7	H23.9.21	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H24.4.18	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.17	H24.4.17	H24.4.25	H24.4.25	H24.4.25	H24.5.16
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.21	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
原子炉冷却材浄化系	A系	パーゼライン本設化					H24.5.11	H24.5.11	H24.5.17
	B系	パーゼライン本設化					H24.5.17	H24.5.17	H24.5.17

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーゼライン：原子炉冷却材浄化系(循環ポンプの封水ライン)

平成24年5月17日、**復旧が完了(100%)**しました。

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)÷(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施した社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行いました。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年7月末現在）

共通設備		凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外 日付は終了(完了)日を記入 ■:前回の月報からの更新箇所								
対象設備		点検内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化 完了予定		社内自主検査
放水口モニタ	1・2号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.下期		
	3・4号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.上期		

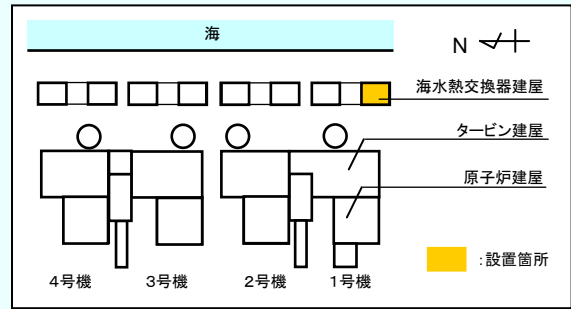
現在の進捗状況の割合は **0%** です。（前月0%）

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

● 1号機海水熱交換器建屋内 電源盤（P/C 1C-2）の据付完了（7月10日）

津波の影響をうけた1号機海水熱交換器建屋内の電源盤（P/C 1C-2）については、新たに製作しておりましたが、7月10日、現場据付が完了しました。



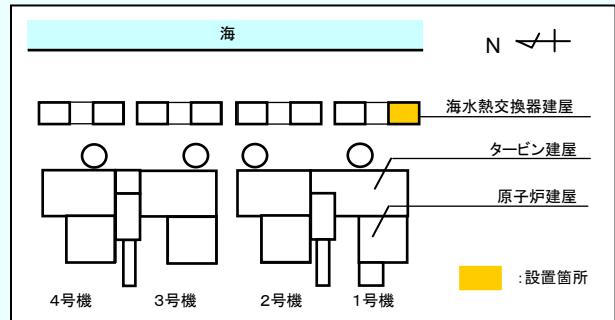
据付前
（平成24年6月8日撮影）



据付完了（平成24年7月10日）
（平成24年7月24日撮影）

● 1号機海水熱交換器建屋内 残留熱除去機器冷却系（C系）の機能確認完了（7月24日）

津波の影響をうけた1号機海水熱交換器建屋内の残留熱除去機器冷却系（C系）電動機については、修理を行った後、5月22日までに同建屋1階に戻しておりますが、7月24日までに仮設の電源およびケーブルにて試運転を行い、機能に問題がないことを確認しました。



電動機据付後の機能確認
（試運転時の温度測定）
（平成24年7月24日撮影）



電動機据付後の機能確認
（試運転時の振動測定）
（平成24年7月24日撮影）

●モニタリングポストにおける津波の影響と現況

- モニタリングポスト（MP）は、福島第二原子力発電所の敷地境界付近に7基設置しており、空間線量率（一時間当たりの放射線の量）を継続的に計測しています。
- 東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響により、モニタリングポスト7基（MP-1～7）のうち、MP-7が流失し測定が不可能となりましたが、その後、可搬型モニタリングポストを用いて測定を実施しました。
- また、MP-6は津波により被水しましたが、機器の健全性は保たれ計測を継続実施していました。
- その後、流失したMP-7については、平成23年12月21日に本設化（新規製作・設置）が完了しました。
- 被水したMP-6については、平成23年10月21日に、予防保全を目的に機器の取替工事を実施しました。
- モニタリングポストの測定値については、当社ホームページで公開しています。<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>



○モニタリングポストの設備概要と測定から公表までの流れ

- モニタリングポスト1箇所毎に、低い線量率を測ることのできる「低レンジ検出器」と、高い線量率まで測ることのできる「高レンジ検出器」が設置されています。
- 検出器近傍の建物内には、検出された放射線を放射線量率に換算する機器等が設置されています。
- モニタリングポストの空間線量率の測定データは、発電所の免震重要棟内にあるデータ収集処理装置で集計・記録・整理・解析が行われ、当社ホームページにおいて測定データを公開しています。



MP-7
(平成24年7月24日撮影)



データ収集処理装置



当社ホームページ

モニタリングポストの津波の影響と現況（表）

	被水の有無	津波直後の稼働状況	現在の稼働状況(H24.7月末)
MP-1	無	○	○
MP-2	無	○	○
MP-3	無	○	○
MP-4	無	○	○
MP-5	無	○	○
MP-6	有 (検出器および建物内機器の一部が被水)	○ (津波により被水したものの機器の健全性は保たれ計測可能であった)	○ (H23.10.21取替完了)
MP-7	有 (検出器および建物が全流失)	× (津波により流失)	○ (H23.12.21本設化完了)

<凡例> ○:稼働可, ×:稼働不可

○津波の影響を受けたMP-6

- MP-6は、津波により検出器本体ならびに制御盤や建物内の機器の一部が被水しましたが、機器の健全性は保たれ計測を継続実施していました。
- 平成23年10月11日～10月21日にかけて、予防保全を目的に機器の取替工事を実施しました。



①震災後のMP-6
(平成23年4月3日撮影)

検出器本体および建物内の機器の一部が被水。



②瓦礫の撤去作業
(平成23年4月4日撮影)

津波により運ばれてきた瓦礫の撤去作業を実施。



③瓦礫の撤去作業終了後の検出器
(平成23年4月4日撮影)

瓦礫の撤去により検出器周辺の放射線環境が変化し、MP-6の測定値が低下。



④検出器本体等の取替工事を実施
(平成24年7月23日撮影)

平成23年10月21日までに、検出器本体ならびに建物内機器の取替えが完了。

○津波の影響を受けたMP-7

- MP-7は、津波により流失したため、平成23年3月21日より可搬型モニタリングポストを用いて測定をしていました。
- その後、検出器本体を設置し、仮設モニタリングポストによる測定を平成23年6月13日より開始していました。
- 平成23年12月21日に本設化工事が完了し、以後、新設したモニタリングポストにより測定を実施しています。



①震災前のMP-7
(平成16年3月17日撮影)



②津波により検出器および建物が流失
(平成23年4月24日撮影)



③仮設のMP-7
(平成23年8月26日撮影)

平成23年6月13日より、仮設モニタリングポストで測定を開始。



④新設したMP-7
(平成24年7月24日撮影)

平成23年12月21日に本設工事が完了。

○モニタリングポストの定期点検

- 平成24年7月10日～8月2日にかけて、原子力災害特別措置法に基づく定期点検（1回／年）を実施しました。
- 点検の結果、モニタリングポスト全基について、測定機器や設備に異常がないことを確認しました。

定期点検の主な流れ（MP-5高レンジ検出器，平成24年7月18日撮影）

①測定値の確認

きわめて低い線量であり人体に影響がない校正用の線源を照射し、検出器が正しく測定できているかを確認。建物内にある監視盤にて校正用線源による照射時の測定値が判定基準値以内であることを確認。



モニタリングポストへの校正用線源の照射



監視盤にて測定値を確認

②検出器の清掃

モニタリングポストのカバーを外し、内部を清掃。



モニタリングポストカバー内部清掃の様子

③窒素ガスの封入

検出器を格納している容器内の湿度を一定に保ち、検出器の精度を維持するため、窒素ガスを封入。

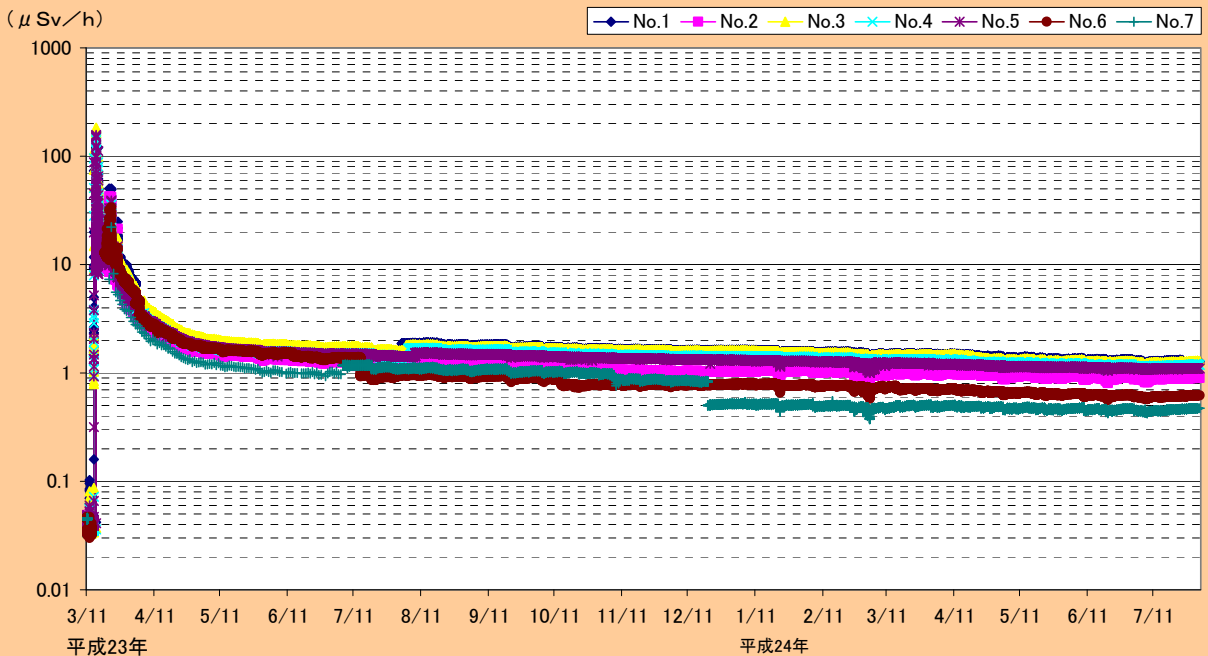


窒素ガス封入の様子

○モニタリングポストの測定値（平成23年3月11日～平成24年7月31日）

- 平成23年3月14日22時7分にMP-1、3月15日0時12分にMP-3の地点で敷地境界での放射線量がそれぞれ $5 \mu\text{Sv/h}$ 以上になり、原子力災害対策特別措置法第10条特定事象（敷地境界放射線量上昇）と判断しましたが、本事象は、当発電所に起因するものではなく、福島第一原子力発電所における事故に伴い大気中に放出された放射性物質の影響によるものと推定しました。
- 平成23年4月3日9時30分以降、当所敷地境界で検出された放射線量が $5 \mu\text{Sv/h}$ を下回って推移し、同年4月8日8時23分に原子力災害対策特別措置法第10条特定事象（敷地境界放射線量上昇）から復帰したものと判断しました。
- 平成24年7月31日現在、MP-1～7の測定値は $0.5 \sim 1.3 \mu\text{Sv/h}$ です。

モニタリングポスト測定値の推移
（平成23年3月11日～平成24年7月31日）



（参考）福島第二原子力発電所構内の空間線量率（平成24年7月31日午後4時30分現在）

